

## 令和5年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立馬込第三小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・物語や説明文の内容を読み取ることができた。
- ・段落の役割について理解し、2段階構成で文章を書くことができた。

#### (2) 課題

- ・文の構成（主語と述語や連用修飾語）についての理解を深めるために、日常から正しい言葉の使い方を意識して、学習の中で生かせるようにする。
- ・前学年までに配当されている漢字の読み書きの定着のために、既習漢字を使って文章を書くことの指導を継続する。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	令和3年度結果	令和4年度結果	令和5年度結果
第4学年			達成率は7割を上回っている。
第5学年		(第4学年時) 達成率は7割を上回っている。	達成率は約7割5分である。
第6学年	(第4学年時) 達成率は約7割である。	(第5学年時) 達成率は7割を上回っている。	達成率は約8割である。

達成率とは、目標値<sup>※1</sup>以上の正答率<sup>※2</sup>だった児童の割合

(目標値以上の児童数÷受験者数×100 (%))

例えば、達成率が7割ということは、目標値に達成した児童の割合が7割ということ。全体の児童が100人としたら、目標値に達しているのは70人で残りの30人は、前年度の基礎的な内容の定着に課題があることを示す。

※1 目標値とは、調査において前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される正答率の値

※2 正答率とは、出題数に対する正解した問題数の割合

(2) 分析 (観点別)

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の読み書きや国語辞典の使い方の理解は、目標値を上回っている。</li> <li>主語と述語との関係を理解することについては、目標値を下回り、課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物語の内容を読み取る問題は目標値を上回っている。説明文を読み取る問題は、目標値をやや上回っている。</li> <li>調べたことを基に文章を書くことや指定された長さで文章を書くことについては、目標値を下回り、課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>正答率と目標値は、おおむね同じであった。</li> <li>文章を書くことの正答率が低く目標値を下回っている。文章を書くことに対して主体的に取り組める学習の工夫が必要である。</li> </ul>

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉の学習では、おおむね目標値を上回っている。漢字辞典の使い方やことわざを正しく使うことは目標値を上回っている。</li> <li>6年生は、漢字を読むことが目標値を下回った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物語の内容を読み取ることや説明文を読み取ることは、目標値を上回っている。</li> <li>5年生は、指定された長さで文章を書くことに対して目標値を下回った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5年生は目標値とおおむね同じであり、6年生は大きく上回っている。</li> </ul>

3 授業改善のポイント (観点別)

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字クイズや漢字の仲間分けなどを通して、漢字への興味や関心を高め、漢字を正しく読んだり書いたりする力を身に付けさせる。</li> <li>語と語の関係を把握し、助詞「は・を・へ」を正しく使い、短い文章で身近な出来事を書く力を育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通して、話し手を見て、終わりまで話を聞くことの大切さを指導する。相手に分かるように説明することや相手の伝えたいことについて詳しく聞く力を身に付けさせる。また、質問したり感想を伝えたりすることで、話の内容が豊かになることを実感させる。</li> <li>文章を読むときには、文章の中の重要な語や文を考えながら読み、感想をもてるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音読発表会や歌遊びなどの学習の中で、楽しみながら音読ができるようにする。</li> <li>引き続き、読書に親しむ機会が増えるよう、読み聞かせや教科書の単元に関連している本を紹介する機会を設ける。</li> </ul>

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"><li>主語と述語の関係を理解するために意味を考えて、文に表すことができるようにする。日常から正しい言葉の使い方を意識して、学習の中で生かせるようにする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>文章を読むときには、中心となる語や文を見付けながら読み、感想や考えをもてるようにする。</li><li>文章を書く力を身に付けるために、はじめ、中、終わりの構成を意識できるようにする。文章を書く前には、構成メモを作成し、表したいことを整理してから書く活動に取り組む。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>自分の思いや考えを伝える機会を十分に確保し、主体的に伝えることや、対話的な学びが充実するようにする。</li><li>児童が目的意識をもち授業に参加できるように、本時のめあてを明確に示す。</li><li>話型や文の書き方などの基本の形を示し、主体的に学習に取り組めるようにする。</li></ul>

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"><li>説明文の学習では、文中の情報から中心となる語や文を見付ける練習を通して、要約することができるようにする。</li><li>習った漢字を使い、語順や構成を整えて文章を書くようにする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>引き続き、質問に対して適切に答えることを意識させる。また、他者の意見を聞き入れ、自分の考えとの共通点を見いだすよう指導する。</li><li>説明文の文章全体の構成を捉える活動を通して、内容や筆者の主張を読み取ることができるように指導する。</li><li>文末表現に注目し、事実と感想や意見と区別して書くことができるように指導する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>言葉を通して人と関わったり、思いや考えを伝え広げたりする場面を多く設け、自分の考えを豊かに表現することができるようにする。</li></ul>